



完成した井戸と貯水槽



維持管理のための工具が入ったオレンジBOX



政府の代表者から事業完了証明書を受け取りました

アフガニスタン 水・衛生環境改善支援

井戸が完成！ 引き渡し式が行われました

ナンガルハール県で実施していた水衛生環境改善支援では、建設中の井戸が完成し、4月14日に引き渡し式が行われました。「井戸の完成を一緒にお祝いしたい！」と、当初250名近い村人たちが参加を希望していたのですが、新型コロナウイルス感染者拡大を受け、参加人数を最小限に制限し、会場には手洗い場を設けるなどして、感染予防対策を行いながらの開催となりました。セレモニーでは、井戸の維持管理に必要な井戸・貯水所の施錠用の鍵と工具（金属ブラシ、ドライバー、鋸、シャベル、手袋、金槌、ソーラーパネル用のほうきなど）が提供されたほか、政府担当者から井戸管理委員会（WMC）メンバーに記念品のターバンが贈られました。本事業は一旦区切りとなりますが、これからはWMCが主体となって、住民から井戸管理費を集め、それを原資に井戸の管理・運営を行っていきます。

＊本事業は、ジャパンプラットフォームからの助成金やジェンへの寄付金により実施しています。

東洋と西洋の知の融合

ニュースレターを手にとってくださる方なら、SDGsは既にご存じだろう。17の目標と169のターゲットを設定し、それを達成することで持続可能な開発が可能になるとして、国連が中心となって世界の人々と対話して設定された目標だ。その期限まであと10年を切って、早くも目標達成をあやぶむ声があるが、嘆いていても仕方ないので、それぞれがいる場所でそれぞれができることをやっていくしかない。

西洋的な考え方では、問題を分析・分類してかみ砕き、目標という形にし、取り組み方を考えやすくし、方法論まで落とし込める。『何をするか(doin)』が明確になり、行動しやすい。ルールを作り、守り、守らせる。壮大な世界の諸問題を「たった」169のターゲットにしてしまうなんて、素直にすごいと思う。

一方、東洋的な考え方では、私が尊敬する東洋思想家によれば『あり方(being)』を重視する。起きた事象を分析してルールを作り、守っていくやり方では、想定外の事象への適切なるまひは担保されない。そして、我々は想定外が頻発する世界に生きていることを、2020年、全世界が思い知らされた。

ジェンの支援の現場でも、日々想定外が起こっている。我々は過去からの確に学び、計画を立て、西洋的な考え方でも事業を実施している。その真髄にあるのは、寛容に多様性を受け入れる東洋的な価値観だと思う。先述の東洋思想家は、21世紀は、東洋と西洋の知の融合が求められていると語っている。ジェンも、東洋と西洋の知の融合を現場で発揮し、より良い世界づくりに貢献していきたいと願っている。

JEN理事・事務局長

木山 啓子

スタッフの
ひとこと

外出自粛中、どのように過ごされていますか？ 私は、コロナ禍ですます家にいることが多くなり、運動不足で、あつという間に太り始めてきました。そこで室内でできる運動(ストレッチや筋トレなど)を始めました。また、3密を避けて、近所に散歩に行くように心がけています。体重にまだ変化はないですが、しばらく頑張って運動を続けたいと思っています。(猪又)

長く続く紛争や大きな災害のあとで「生きる力」を支えていく

ジェンの活動へのご支援のお願い

未使用の書き損じ年賀ハガキやハガキはありませんか？

あなたの未使用の(書き損じ)年賀状や官製ハガキ(郵政ハガキ)または、未使用切手をジェンの東京本部にお送りください。ジェンの支援活動のために活用させていただきます。



〒107-0052

東京都港区赤坂7-5-27-305

特定非営利活動法人ジェン「ハガキ・切手係」

生きるちからマンスリーサポーター

月々1,000円から始められる定額自動引き落とし型の寄付プログラムです。年4回発行のニュースレターをお届けするほか、活動報告会などさまざまなイベントのご案内をいち早くお知らせいたします。

※本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載は固くお断りいたします。

※QRコードを読み取る際、無料アプリをお使いの方は、アプリによって広告が表示される場合がございます。間違って広告をクリックされないようご注意ください。

東京本部事務局の住所について

今回ニュースレターをお送りする際に使用している封筒の記載住所は旧住所となります。修正に要する費用などを勘案した結果、封筒に表示する住所については、当面古いままで使用し続けることといたしました。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解賜われますようお願い申し上げます。



特定非営利活動法人ジェン(JEN) 東京本部事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-27-305

TEL: 03-5114-6201 FAX: 03-5114-6202

ホームページ <https://www.jen-npo.org/>

NPO JEN

Japan.Emergency.Ngo

@NGO_JEN

このニュースレターは継続可能な森林管理のもと生産された原料で製造された紙、FSC®認定紙を採用しています。



インターンが行く! 近くで見るジェンの世界

2021年1月から半年間、ジェンのインターンシップに参加している本多さんが、サポーターの皆様にジェンをより深く知っていただくために、スタッフにインタビューを行いました。その一部をご紹介します。

緊張しましたが
おふたりとも
優しくお話しして
くださいました!



インターンシップ
大学生の
本多さん

支援の際に気を付けていること、意識していることはありますか?



ジェンスタッフ
アフガニスタン担当
松浦さん



インタビュー
全文は
こちらから

先入観でものを言わないことです。私は昨年の6月にジェンに入職してこの業界に入って間もないですし、東京にいる日本人の私が、現場の状況を理解せずに先入観を持って「あれはこうすべきだ」と言ってしまうのは非常に危険だなと思っています。上下関係はありませんが、現場のスタッフは「本部がこう言っているから従わなければ」と思うかもしれません。「日々の生活はどのようになっているのか」をなるべく現場のメンバーに聞いて、理解をするように努めています。



現地スタッフが送ってくれた写真。生活の様子を理解する大事な手段です。

インターンを
経験して

私は難民支援に関わりたく、ジェンの「生きる力、を支えていく」というモットーに感銘を受けてインターンに応募しました。実際に参加してみて、長期的な視点を持って支援を行うことの大切さや、ジェンの皆さんの常に学ぶ姿勢が印象に残っています。インターンを通して、私は「一人ひとりを考えることの重要性」を痛感しました。それまで何かを行う際、自己完結している部分が多くあったと気づき、自立支援を考える中で、活動を発信する中で、その向こう側にいる人々を忘れてはならないと学びました。これからは自分の想像する先にも目を向けて、思考停止せずに「自分が今できること」を進めたいです。(本多)

これまでで印象に残っている活動について教えてください。



ジェンスタッフ
パキスタン担当
猪又さん



インタビュー
全文は
こちらから

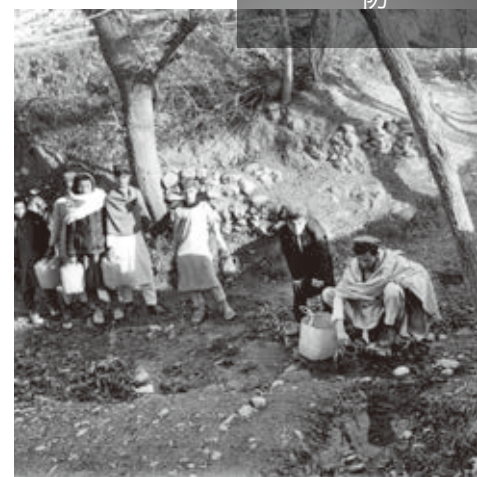
クラウドファンディング事業で実現した女子中学校の修学環境改善支援事業です。パルダという文化を持つ女子生徒たちにとって、壁の低さは大きな問題となり、それが理由で登校できない生徒もいます。モニタリングの際に、学校に通うのを止めてしまった友達も戻ってくるかもしれないと話す生徒や、将来スポーツ選手を夢見る生徒は、以前は休み時間に外に出て運動することができなかったけれど、毎日休み時間になるのを楽しみしていると話してくれました。



図書館には書籍が設置されました

新型コロナウイルス
感染症拡大予防
支援事業

小川の水を
飲用水として使用



ナンガルハール県のパチルワアガム地区では、水衛生環境改善を通じた新型コロナウイルス感染症拡大予防支援事業が3月からスタートしました。この地区は、2019年まで武装勢力との戦闘が繰り返されてきたため、農村復興開発局とUNOCHA(国連人道問題調整事務所)から県内で最も支援ニーズが高い地区の一つと認定されています。衛生知識も不十分なため、コロナ禍でも石鹸を使った手洗い習慣

がなく、基本的な予防対策が行われていないことが調査でも確認されました。そこで本事業では、村人たち220世帯を対象に、衛生教育の実施と石鹸などが入った衛生キットを配布し、安全な飲料水と手洗い実践のための水を確保できるように井戸と給水所を建設して、コミュニティによる持続可能な管理体制の構築を目指していきます。

*本事業は、ジャパン・プラットフォームからの助成金やジェンへの寄付金により実施しています。

女子学習環境
改善事業

教室代わりに
使われているテント



パルダ※を重視し、「女性には教育は不要」という考えが根深く残るアフガニスタン。とくにナンガルハール県は、就学年齢の女子の65.8%が教育を受けていないという現状があり、かねてからジェンで温めてきた女子学習環境改善事業がこの地域でも動き出しました。本事業を成功させるためには、まず家族やコミュニティの女子教育に対する理解を促すことが不可欠です。そこで、政府の女性課題省の担当者や宗教専門家

などと連携し、イスラム教の文化規範に照らしあわせながら女子が教育を受ける権利について学ぶ「対話型の研修プログラム」を作成しました。このプログラムには、地域の長老や保護者が参加するほか、宗教指導者にも働きかけて、礼拝の場で女子教育の重要性について話してもらう取り組みも並行して行っていく予定です。

※女性を男性の視線にさらされることから守る風習や制度
*本事業は、外務省「日本NCO連携無償資金協力」からの助成金やジェンへの寄付金により実施しています。

アフガニスタンで
新しいプロジェクトがスタートしています

New!

サポーターの
皆さまからの
質問コーナー

ニューズレター82号で紹介したパキスタンの「女子中学校 修学環境改善支援」に届いたご質問にお答えします。

Q 周りの人に運動しているところを見られてはいけない文化なのではないですか?

A パルダにより女性を守り、安全に学べる環境として外から見られない環境を作ることが大切なのです。

Q 外壁はすごく高いですが、中に支柱などは入っているのでしょうか?

A 壁は政府が承認した仕様に従って作られています。壁の内側には支柱があり、地震で崩壊しないように考慮されています。

みなさまからのご感想や質問は活動の励みになります。こちらからぜひお寄せください。

ご感想や
質問は
こちらから



お知らせ

宮城県丸森町の
支援事業が完了

宮城県丸森町の生活復興支援事業は2021年3月をもって完了しました。みなさまのご支援、ありがとうございました。

*

クレジットカードの
決済代行会社が
変更になります

ジェンでは、決済代行会社の変更を行うことになりました。詳細な日程に関しましては、ホームページをご覧ください。

《現状》
ROBOTPAYMENT
株式会社

《変更後》
GMOペイメントゲート
ウェイ株式会社

マンスリーサポーターの引き落としに關しましては、順次変更を予定しております。変更前に必ずメールもしくは郵送にてご連絡いたします。お使いのクレジット会社によっては、再登録をお願いすることがございます。サポーターの皆さまにはご不便をおかけしますが、なにとぞご理解を賜りますようお願いいたします。